

## 安全推進委員会委員等による工事現場視察の概要

- 1 実施日時 平成26年11月9日（日）  
【1回目】午前9時30分から10時30分  
【2回目】午前11時から正午
- 2 実施場所 公共関与最終処分場建設工事現場（玉名郡南関町下坂下地内）
- 3 出席者 約50名（委員のほか地元住民等）
- 4 概要

覆蓋施設内で工事概要を説明後、遮水シート融着や加圧試験の様子などを確認。主な質疑は以下のとおり。

### (1) 湧水処理対策（地下水集排水施設）関係

- ① 昨年度の現場視察で北西側の法面部からの湧水が確認できたが、その処理はどうしているのか。  
→ 湧水箇所にパイプを設置して素掘側溝で集水し、ポンプで排水しています。今後は、今後設置する地下水集排水管で集水し排水します。
- ② 地下水集排水管が土砂で詰まることはないか。  
→ ポリエチレン管に空いている小さな穴は、碎石よりも小さいことや、碎石層に集まる地下水の流速も遅いため、埋立地内の土砂が吸い出されて管内に溜まることは考えられません。
- ③ 地下水集排水管には逆流防止弁は付いているのか。  
→ 放流側に設けます。
- ④ 底盤コンクリートのひび割れ対策はどのようにするのか。  
→ ひび割れを抑止するための鉄筋を配置します。また、ひび割れが発生した場合は適正な対策を実施します。

### (2) 遮水シート関係

- ① 遮水シートの耐久性はどのくらいか。  
→ これまでの説明会で説明してきましたように、福岡高裁で「少なくとも50年以上の耐久性を有している。」との見解が示されています。見解が出されてから10年以上経過し、技術的に遮水シートの性能も向上していると思われます。また、エコアくまもとの廃止までの期間は30年～40年であり、その間の耐久性は十分確保できます。
- ② 柱部の遮水シートについて、上下の端部はどのような構造になっているのか。  
→ 下の端部は柱部と法面部の遮水シート接合部に、工場で製作した成形品のシートを使用し一体化させるため開口部はありません。上の端部は廃棄物の埋立面より上にあるためシートに開口部があります。

- ③ 柱部の遮水シートが、ダブっているようだ。  
→ 温度によりシートが伸縮するため、ある程度、余裕を持ってシートを施工しています。



【工事概要を説明①】



【工事概要を説明②】



【遮水シート融着の見学①】



【遮水シート融着の見学①】



【遮水シート加圧試験の見学②】



【地下水集排水管施工箇所の確認】